

# 保育技術検定

# 音楽・リズム表現技術



# 検定内容

3級 童謡歌唱

2級 ピアノ演奏・童謡歌唱

準1級 ピアノ演奏・童謡歌唱

1級 ピアノ演奏・童謡の弾き歌い



# 確 認

★令和6年度実施の検定試験より、  
「検定試験の曲は2週間前に提示す  
る。」としています。  
ただし、課題曲は、すべてを事前に  
練習させておきましょう。

★1級の弾き歌いのみ課題曲は3曲  
です。

# 準備

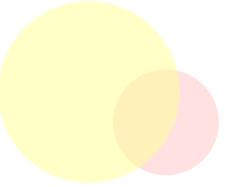
- 1 よく調律されたピアノと椅子
- 2 教材
  - ピアノ  
「標準バイエルピアノ教則本」(全音楽譜出版社)  
「新訂バイエルピアノ教則本」(音楽之友社)
  - 歌唱  
「子どものうた200」(チャイルド本社)
- 3 ストップウォッチ
- 4 歌唱用譜面台 (必要であれば)



# 準 備

## 5 課題曲はすべて事前に練習しておく 「評価基準・実施上の注意（実技）」に記載

3級	2級		準1級		1級	
歌唱	ピアノ	歌唱	ピアノ	歌唱	ピアノ	弾き歌い
おしょうがつ	30	とけいのうた	62	いちねんせい になつたら	88	おかあさん
チューリップ	36	ゆきの ペンキやさん	66	あひるの ぎょうれつ	91	あわてんぼうの サンタクロース
どんぐり ころころ	38	ありさんの おはなし	74	おすもう くまちゃん	97	おへそ
こぎつね	46	おもちゃの チャチャチャ	77	とんとん ともだち	100	



## 準 備

- 6 試験2週間前に、送付された楽譜を受検生に配付し、出題内容を提示する
- 7 試験会場には、送付された楽譜（コピー可）を用意しておく  
※ 楽譜には一切書き込まないこと

# 実施方法

## 歌唱

- 1 はじめの音をピアノなどでとる
- 2 自分の音域にあった高さに移調してうたつてもよい（その場合は、**移調した出だしの音**をピアノでとる）
- 3 指示された箇所をうたう
- 4 3級は無伴奏で拍子を打ちながらうたう  
2級・準1級は無伴奏で拍子を打たない
- 5 1級は指示された箇所を弾き歌いする
- 6 暗譜の必要はない



# 実施方法

## ピアノ

- 1 繰り返しのある曲は繰り返しをしない
- 2 暗譜の必要はない

## 共通

- 1 検定時間は5分以内とする  
演奏を始めてから終了するまでとし,  
5分経過した場合は途中でも終了する

# 実施方法

2 演奏を中断した場合、1回だけ最初から弾き直し、うたい直し（弾き歌い直し）ができる

『中断』とは・・・止まってしまって演奏を続けられなくなった場合をいい、間違えたためにもう一度やり直してよいということではない

原則、止まらずに演奏し終えるのが望ましい

# 評価についての注意

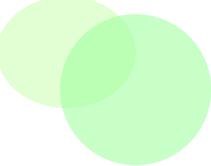
## 1 次の場合は失格とする

- すべての級において、送付された楽譜以外の楽譜で演奏した
- 3級で拍子を打たずにうたった





# 評価についての注意



## 2 次の場合は受検態度で減点とする

- 初めにとった音と違う音からうたい始めた場合  
→ 【受検態度】2点の範囲内で減点
- 2級・準1級で拍子を打ってうたった場合  
→ 【受検態度】3点の範囲内で減点
- 採点上特に問題のある事項  
(服装・髪型・爪・姿勢・態度など)  
→ 【受検態度】5点の範囲内で減点

# 評価についての注意

- 演奏を中断してしまい、最初からうたい直し（弾き歌い直し）、弾き直しをした場合  
→ 【受検態度】それぞれ3点の範囲内で減点

- ピアノにおいて、途中で何度も間違えたり、部分的に少しほどて演奏した場合は、次の項目で評価すること

2級は、採点表の2または3の得点事項で評価

準1級は、2及び3の得点事項で評価

1級は、3の得点事項で評価

（質疑応答集参照）

# 歌 唱

歌詞やメロディをよくあじわい,  
曲のニュアンスをいかした歌い方を工夫しましょう

- ・よい姿勢で立つ
- ・ピアノで音をとって練習する
- ・ことばやフレーズの途中で息継ぎ（ブレス）をしない
- ・ことばをはっきり発音する
- ・相手にうたいかける
- ・はっきりと拍子を打つ

うたう楽しさを感じると

相手にうたいかけるうたい方になってきます



# 歌唱の基本

## 姿勢

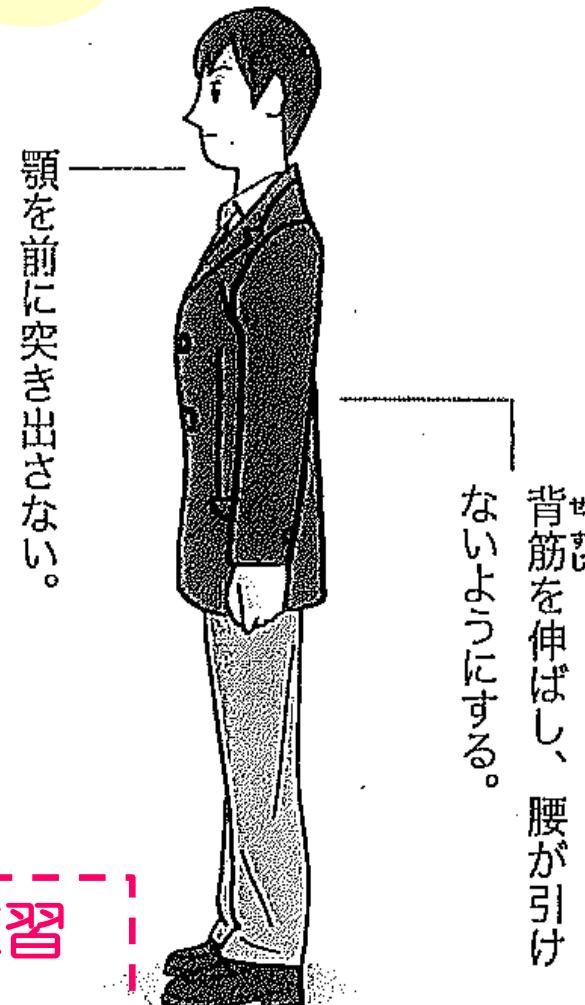
重心をつま先に置き、頭のてっぺんから上に引っ張られるような感じで立ち、軽くあごをひく

## 腹式呼吸

お腹だけでなく腰回り全体にも空気をいれるような感じで息を吸う

## 発声

深く息を吸い、下腹部や背中の支えを保ちながら声を出す



高音域が出せない生徒が多いため、発声練習の際の姿勢として紹介しています。実際に歌う場合は、相手の顔を見て明るい表情で歌いましょう。

# 3級出題の主旨と観点

級	出題の趣旨	時間	観点	
3	拍子を取りながら簡単な童謡をうたうことにより、歌唱の基礎的な表現技術を測る	5分以内	歌唱	1 拍子(打ち) 2 うたい方



観点	3級 採点					実技得点（35点以上合格）	合否の判定
	歌唱						
得点事項	1 拍子が正確に打てる	2 姿勢、発声がよい	3 リズムが正確でブレスが適正である	4 発音がよく、正しくうたえる	5 相手にうたいかけている	減点（受検態度5点の範囲）	
得点	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10		50
配点	10	10	10	10	10		

# 3級の出題例

## 歌 唱

手拍子または打楽器で拍子を打ちながら  
「チューリップ」をうたいなさい。

(無伴奏とし、はじめの音をピアノなどで  
とってからうたう)



# 「拍子を打つ」とは

曲の拍を打つことをいう。

**強拍と弱拍の周期で拍子が決まります**

2拍子は、強拍・弱拍 ● ●

3拍子は、強拍・弱拍・弱拍 ● ○ ○

4拍子は、(2拍子が2つ集まった形であるため)

強拍・弱拍・中強拍・弱拍 ● ● ● ●  
等のように

**拍の繰り返しを感じながら  
打ってください**



# 3級のポイント

- ◆ 姿勢を正しく、拍子を打ちながら  
はっきりと楽しくうたう
- ◆ 速度記号や強弱記号に留意して、  
歌詞の内容を表現する

例「チューリップ」であれば  
いろんな色があります。同じ高さに咲くらしいです。  
みんなは、何色が好き？ 赤・白・黄色。私は、ピンクなどの声が聞こえるようですね。

そんな場面を思い浮べましょう  
そして拍子を打つ時に拍の空間を感じよう。

### 3級歌唱課題

へ長調（♪は調号）

4分の2拍子

#### 速度記号

1分間に♪を92回打つ速さ  
(メトロノームで92)

2小節でフレーズの小さなかたまり  
と考えて、4小節でひとつの大きな  
フレーズでできています

チュー リップ

♩ = 92

mp

メゾピアノ（やや弱く）



この音を取ってから歌い始める

同じ言葉が2度くるときの歌い方を考えましょう

(移調した場合は、自分が歌う出だしの音)

メゾフォルテ（やや強く）

デクレッセンド（だんだん弱く）



「どのはなみても」ここが一番の盛り上がり

楽譜は伴奏部を  
カットしています

「きれいだな」のあとに、みんなはどんな色が好きかな？と続  
くような歌い方をしましょう

# 2級出題の主旨と観点

級	出題の趣旨	時間	観点	
2	バイエルNo.30 ～No.47程度の ピアノ演奏と童 謡歌唱により、 ピアノと歌唱の 基礎的な表現技 術を測る	5分 以内	ピアノ	1 左右とも高音部記号 2 タイの使用 3 左右のポジション移動 4 8分音符の使用
			歌唱	1 発声 2 正しい音程とリズム 3 フレーズ

拍子は打たない

観点	ピアノ					歌唱	合否の判定
	2級 採点	減点（受検態度5点の範囲）	実技得点（35点以上合格）	得点事項			
得点事項	1 指先、手の形が整い、打鍵がよい  2 正確に楽譜を読み取り、演奏している	3 よい	1 ムで相手にうたいかけている 発声に無理がなく、正しい音程とリズム	2 歌詞を正しく解釈し、表情が豊かである			
得点	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	0・3・5・8・10	50	
配点	10	10	10	10	10		
	部分的に何度も弾き直した場合は 2または3の事項で評価する						

# ピアノ演奏にあたって

- 1 椅子の**座り方**と弾く**姿勢**
- 2 正しい**手と指の形**
- 3 **指番号**

※1・2・3の項目はピアノを取り組む際に大切な事柄です。

次のスライドを参考にしっかりと実施・ご指導ください

- 4 ブラインドタッチ（手元を見ずに）
- 5 音と音が切れないように指の離れと次の打鍵への  
**タイミング**をつかむ
- 6 打鍵の**スピード**をコントロールする
- 7 右手と左手の**同時打鍵**
- 8 それぞれの指を**同じ強さ**で弾く

# ピアノを弾く時の姿勢・打鍵・指番号



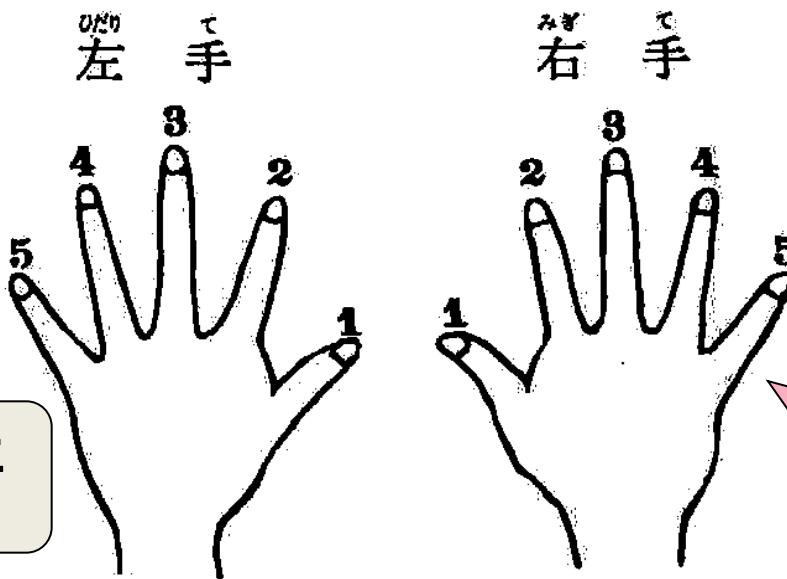
爪は短く切る

手はそっと卵を持つような形で



手と指の形

鍵盤と手のひらを平行に手首は下がりすぎない  
指は自然に丸く、関節はどこもへこまないように



椅子に浅く腰掛ける

足はペダル付近にしっかり置く

左右の指番号

# ピアノの練習方法

- 初めてピアノに取り組む際は丁寧に行いましょう。
- ピアノに触れる前に譜面を読む時間をつくり、その後鍵盤の場所を確認すれば良いでしょう。  
(階名を読みながら弾きましょう)
- 最初から両手や速いテンポで行うのは、却って時間がかかります。
- 片手ずつ、ゆっくりと譜読みをし、両手で均一な速さで弾けるようになったら、最後に指定の速さで出来ているか確認しましょう。

# バイエルの内容

No.47まで

## 音符と休符

全音符 付点2分音符 2分音符 4分音符 8分音符  
4分休符 8分休符

## 速度記号

**Moderato** **Allegretto** **Comodo** **Andante**

## 奏法を示す記号

**legato** スラー タイ オクターブ記号 反復記号



## 2級ピアノ課題

4分の4拍子

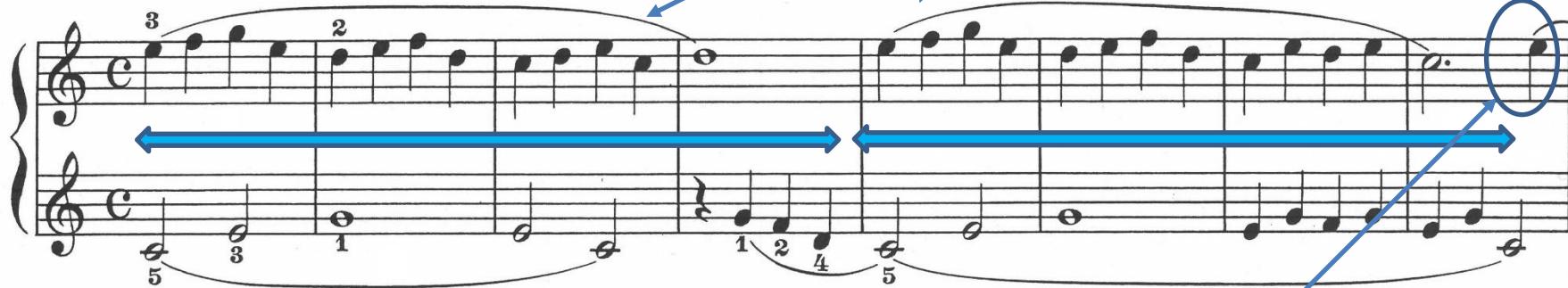
Moderato

モデラート（中ぐらいの速さで）

スラー（滑らかに）

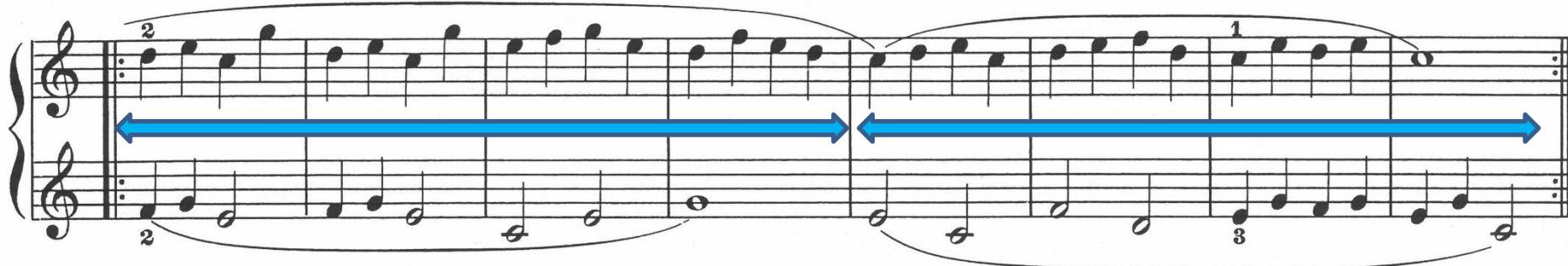
（音の流れの区切りを示しています）

30



左右共に出だしの音と指番号に注意

この音から次のフレーズが始まります



●更に、この曲でレベルアップを図る場合は、➡➡で示した部分のフレーズの区切りを感じられたら良いですね。準1級受検にも繋がります。

## 2級歌唱課題

ありさんの おはなし

1番と2番のうたい分けをしっかりと

へ長調 4分の3拍子

都築 益世 作詩  
渡辺 茂 作曲



1. ありさんの おはなし きいたかね  
2. ありさんの おはなし きいたかね

この休符を生かして歌いましょう

楽譜は伴奏部をカットしています



ちいさな こえだが きこえた よ  
ないしょの こえだが きこえた よ

ありさんの様子を想像してみましょう

ここでブレスをしっかりとします



おいしい おかしを みつけた よ  
おおきな もものみ みつけた よ

この曲の一番の盛り上がるところ



となりの おうちの おにわだ よ  
みんなで なかよし たべに こい

譜面を正しく理解し、歌詞の内容を想像しましょう。

あとは姿勢を良くし、相手に語りかけるように歌いましょう。

# 準1級出題の主旨と観点

級	出題の趣旨	時間	観点	
準1	<p>音楽に関する専門性を高めるために基盤的知識を学び、バイエルNo.48～No.78程度のピアノ演奏と童謡歌唱の表現技術を測る</p>	5分以内	ピアノ	1 音域が五指から拡大 2 音域の拡大 3 付点4分音符の使用 4 低音部記号 5 音階 6 重音 7 三連符 8 臨時記号
			歌唱	1 うたい方 2 正しい音程とリズム 3 フレーズ <b>拍子は打たない</b>
		10分	筆記	1 音楽・リズムに関する知識・技術



## 準1級ポイント

- ・指先や手の形に無理がない
- ・正しく運指ができる
- ・音の大きさや音色がそろっている

- ・それぞれの指がコントロールされていて正確なリズムと速さで演奏することができます

## ピアノ

1 それぞれの指が動き、独立して適切である	2 速さや流れが適切である	3 楽譜を正確に読み取り、正しく演奏している	4 左右のバランスがよく、旋律と伴奏の音量が適切である
0~10	0~10	0~10	0~10

- ・左手と右手の音量が適切である
- ・メロディーと伴奏のバランスが良い演奏ができている

- ・音符・休符  
速度記号・強弱記号  
発想を示す記号  
奏法を示す記号  
などを読み取り  
弾いている
- ・フレーズ、メロディの進行が正しく保たれている

アレグロ モデラート (ほどよく速く)

## 準1級ピアノ課題 <前半>

4分の3拍子

Allegro moderato

62

メゾフォルテ (少し強く)

この休符で左手の用意をする

オクターブ記号

- 音符の種類や、スタッカートやスラーなど、一音一音よく確認しましょう
- 左手はしっかり練習する

<後半>

新しい音形に注意して右手のフレーズを弾きましょう



音部記号に注意して、オクターブ移動する



これまでと違う動きに注意



タイ(同じ高さの音をつないで)

## 準1級ポイント

- ・言葉を丁寧にはっきりと発音している
- ・無理のない声でうたっている

- ・ピアノで最初の音をとり、うたいはじめている
- ・正しい音程でうたっている

## 歌唱

1 発音、発声が適切である	2 音程が確かにある	3 歌詞、リズムが正確である	4 歌詞に即して、抑揚、フレーズ感をもつてうたっている
0~10	0~10	0~10	0~10

- ・楽譜をよく読みとり、正しくうたっている

- ・歌詞の内容を理解し、旋律と言葉のまとまりを大切にしてうたっている

# 準1級歌唱課題

ヘ長調

4分の4拍子

## いちねんせいになつたら

楽譜は伴奏部分を  
カットしています

アレグレット(やや速く)

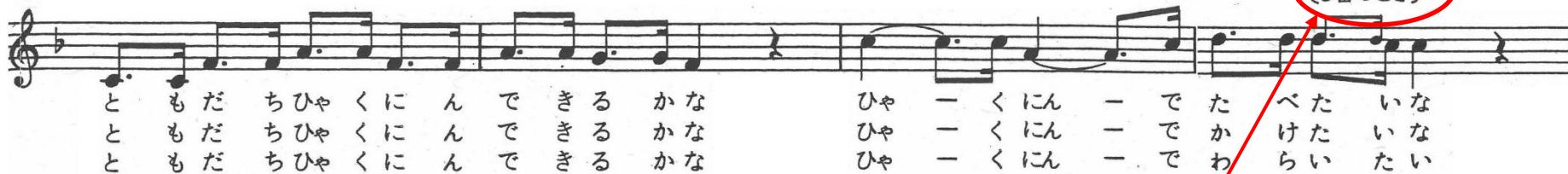
Allegretto



1. いちねんせいになつたら  
2. いちねんせいになつたら  
3. いちねんせいになつたら

反復記号 ||: :| の間を繰り返す

付点のリズムでわくわく感を表現



これまでと違う音程に注意



ふじさんのうえでおひにぎりをばつくんばつくんぱつくんと  
にっぽんじゅうをひとまわりをどつしんどつしんぱつくんと  
せか一いじゅうをふるわせてわつははわつしははわつくしははわつ

# 1級出題の主旨と観点

級	出題の趣旨	時間	観点	
1	<p>音楽に関するより高度な専門性を身につけるために、バイエルNo.79～No.104程度のピアノ演奏と童謡の弾き歌いによる総合的な表現技術を測る</p>	5分以内	ピアノ	1 16分音符 2 装飾音符、前打音 3 半音階の使用 4 総合
			弾き歌い	1 弹き歌い 2 ピアノ、歌唱による総合
		10分	筆記	1 音楽・リズムに関する知識・技術

合否の判定

実技得点（60点以上合格）

80

減点（受検態度5点の範囲）

弾き歌い

4 歌と伴奏のバランスが適切である

ができる

3 曲想にあったテンポ、リズムで伴奏

いる

2 歌詞を大切にして表情豊かにうたって

1 音程が確かで、音量がある

4 曲想を生かした演奏ができる

1級採点

ピアノ

観点

得点事項

1 より高度な奏法ができる

2 旋律と伴奏の音量が適切である

3 左右のバランスをとることができ、

4 曲想を生かした演奏ができる

得点

0~10

0~10

0~10

0~10

0~10

0~10

0~10

0~10

配点

10

10

10

10

10

10

10

10

部分的に弾き直した場合は、3の得点事項で評価する

ピアノが楽譜通りに演奏できなかった場合は、4の得点事項で評価する

# 1級ポイント

打鍵の技術が身についていて、ピアノでさまざまな表現ができている

メロディーと伴奏を理解して、曲に合った弾き方ができている

## ピアノ

1 より高度な奏法ができる  
それぞれの指の動きが独立していて、

2 左右のバランスをとることができ、旋律と伴奏の

3 音量が適切である  
コントロールできる  
和声感、曲にあつたテンポ、リズムを総合的に

4 曲想を生かした演奏ができる

・強弱記号  
発想を示す記号  
奏法を示す記号  
など様々な標記、  
記号をいかして  
表情豊かな演奏  
ができている

曲の和音進行を把握して、イメージをもつて演奏できている  
指定の速さを維持できている  
正確なリズムを効果的に演奏できている

0~10

0~10

0~10

0~1

# 1級ピアノ課題

イ短調

4分の2拍子

アレグレット (やや速く)

スラーで音のまとまりをとる

指使いに注意

Allegretto

91

ドルチエ (甘くやわらかに)

転調しています (ハ長調)

クレッセンド (だんだん強く)

ディミヌエンド (だんだん弱く)

転調 (元の調に戻っている)

# 1級ポイント

## 弾き歌い

- 無理のない発声と正しい音程ではっきりとうたうことができる

1 音程が確かで、音量がある

2 歌詞を大切にして表情豊かにうたっている

3 曲想にあつたテンポ、リズムで伴奏ができる

4 歌と伴奏のバランスが適切である

- 言葉のニュアンスを表現できている
- 歌詞の内容を把握し、情景を表現できている

・ピアノ演奏を伴い、相手に届くようにうたいかけている

・適切な速度と正確なリズムで曲のイメージをピアノで表現できている

0~10

0~10

0~10

0~10

# 1級弾き歌い課題<前半>

二長調

4分の4拍子

出だし(言葉)の音をハッキリと

おかあさん シンコペーション

田中ナナ  
中田喜直

作詩  
作曲

スラーとスタッカート



強弱で様子を表現しています

反復記号 ||: :|| の間を繰り返す

うたとピアノの  
強弱のバランス



様々なリズムが使われています。シンコペーションや付点のリズムを確認しましょう。

<後半>

[母]

せんたくしていた においでしょ  
おりょうりしていた においでしょ

ふたりでいっしょに しゃほんのあわのの  
たまごやきー

上のパートを歌います

においでしょ  
においでしょ

1. 2.

短前打音

ペダルを踏む

*Sust*

*Sust*

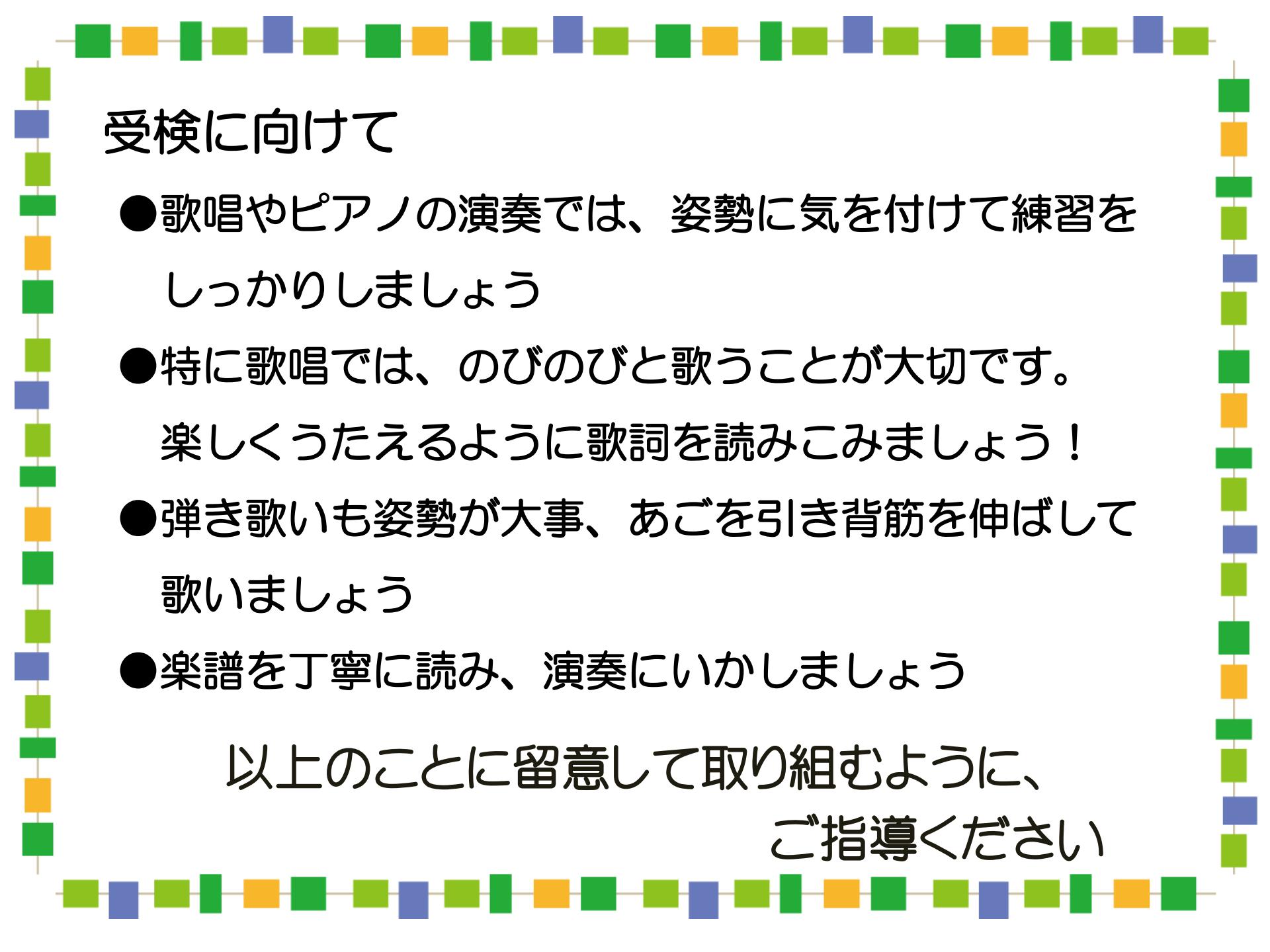
*Sust*

*Sust*

ペダルを踏み直す

フェルマータ:  
ほどよくのばす

子どもとお母さんの距離感を想像して表現しましょう



## 受検に向けて

- 歌唱やピアノの演奏では、姿勢に気を付けて練習を  
しっかりしましょう
- 特に歌唱では、のびのびと歌うことが大切です。  
楽しくうたえるように歌詞を読みこみましょう！
- 弾き歌いも姿勢が大事、あごを引き背筋を伸ばして  
歌いましょう
- 楽譜を丁寧に読み、演奏にいかしましょう

以上のこと留意して取り組むように、  
ご指導ください

バイエル教則本、子どものうた200、筆記問題集を揃えて過去問題を練習すれば筆記の心配いりません。ピアノや歌をうたう際に必要な理論を知ることは、大切なことです。

しっかりと基礎基本を学んでおけば、あとはどんどん上達します。保育の音楽は自分が演奏するというよりみんなで歌ったり踊ったりアンサンブルを楽しむためのものです。

テンポよく明るい雰囲気で幼児の心をつかむための技術を身につけましょう。

先生方、楽しく一緒に学びましょう。  
ありがとうございました。

保育技術検定  
音楽・リズム表現技術

